

理解推進事業

毎年恒例の美術作品展がパルテノンで開催 絵やコラージュなど 400 点を展示

多摩市に在住・在学・在勤、市内の福祉施設に通所している障がいのある方々の作品展が今年も 11 月末からパルテノン多摩で開催。21 の団体と個人が展示し、下は小学生から上は 70 代まで幅広い年齢の方々の力作が揃う。平日の開館は夜 8 時まで。多摩センターのイルミネーションと合わせて鑑賞に訪れてみてはいかがだろうか。

【開催概要】

期間／11 月 27 日(日)～12 月 4 日(日)朝 10 時～夜 8 時 土日は夜 6 時まで
問合せ／電話 042-356-0308(実行委員会事務局)



資源化センター事業

年末にかけ処理量も増大 安全と体調管理の徹底でスマート作業

10 月の作業実績は 13 日間でおよそ 65 時間。総選別量は前月と比べ、約 10%減との約 86 トンだった。これから年末にかけ、処理量も増えていく。風邪などひかないよう体調管理に努め、引続き作業に取り組みたい。

移動支援事業

近場での買い物からちょっとした遠出まで 新しい出会いと発見を求めて

10 月はつむぎ館まつりやハロウィンなどの季節イベントや映画、カラオケ、買い物などで計 46 件の利用があった。今年もクリスマスに向けて街のライトアップも始まった。ヘルパーと一緒に出かけよう。

加盟団体紹介

アートひまわり
多摩市南野 3-15-1 総合福祉センター 5 階 ☎373-8455
NPO 法人あしたや共働企画
多摩市諏訪 5-6-3-101 ☎372-3690
NPO 法人暉望(色えんぴつの家)グループ TOMO
多摩市永山 3-9 ☎372-3382

NPO 法人くぬぎ
多摩市永山 3-9 ☎375-2583
NPO 法人どんぐりパン
多摩市諏訪 5-6-3-105 ☎371-9236
サンクラブ多摩
多摩市南野 3-15-1 総合福祉センター 5 階 ☎356-0308
多摩市視覚障害者福祉協会
多摩市聖ヶ丘 1-28-26-103 ☎372-8051

NPO 法人多摩市身体障害者福祉協会
多摩市南野 3-15-1 総合福祉センター 3 階 ☎338-7009
多摩市手をつなぐ親の会
多摩市落川 1234-2 ☎371-8809
多摩市聴覚障害者協会
多摩市聖ヶ丘 1-19-5-201 FAX 372-0939

4 ※の一まの『HOT ほっと』は 2014 年 9 月号、本部で発行しておりました『多障協だより』は 2014 年 1 月発行の冬号をもって最終号とさせていただきます、2014 年 9 月より 2 つを統合し『月刊 relier』としてリニューアル発行させていただきます。法人ともども今後ともよろしくお願いいたします

精神障がい理解に向けた講演会が 2 月に開催

多摩市障害者福祉協会主催の講演会が来月 2 月 17 日、聖蹟桜ヶ丘ヴィータ 8 階の関戸公民会で開催。第 15 回となる今回は「障がいを持って生きるとは～精神障がいの理解と共生」と題し、障がい者を取り巻く社会と支える仕組みづくりについて講演が行なわれる。講師は日本精神保健福祉士協会の木太直人常務理事。大学で社会福祉を学び、卒後は聖マリアンナ会東横恵愛病院で医療相談室科長や地域ネットワーク推進室長などを務める傍ら、各種団体の理事長や代表の立場から障害福祉に携わってこられた。現場感覚に根ざした、具体的なシステムづくりの話が聞ける絶好の機会だ。
当日は 9:30 開場・10:00 開演。予約不要で先着順。入場無料。手話通訳あり。問合せは実行委員会。TEL 042-356-0308 まで。

今月の花

～南天(なんてん)～

江戸時代に、様々な葉変わり品種が選り出され、盛んに栽培された南天。福寿草と合わせ「災い(難)転じて福となす」という語呂合わせから、縁起物や厄除けとして庭に植えたり装飾などに使われてきた。葉には、食品の防腐作用があり、赤飯や重箱飾りに使われる。また、薬効成分が含まれているため、食中毒や擦り傷、火傷などの鎮痛剤としての効果や、二日酔いや船酔い等に効果があり重宝された。



☉12 月 5 日と 8 日の誕生花。花言葉は「機知に富む」「福をなす」「良い家庭」
☉12 月の誕生花とされているが花が咲くのは初夏



多摩市障害者福祉協会



つながりを力に、人と人を結ぶ
月刊多障協通信 ルリエ

relief 12月号



発行：多摩市障害者福祉協会
多摩市南野 3-15-1 総合福祉センター 5 階
障害者団体共用室

☎042-356-0308 FAX042-311-2327

ホームページ <http://tashokyo.com>

多障協だより
吹く風に首元寒し
冬気配の号

2016 年 11 月 25 日発行
2016 年第 3 巻第 11 号 通巻 27 号

目次

事業報告

障害者差別解消法について	1
支援センターの一ま	2
障がい者就労支援センター	3
移動支援事業	4
資源化センター事業	4
加盟団体紹介	4
精神障がい理解に向けた講演会 が 2 月に開催	4
今月の花	4

連載

NEWS	1
今月のひとこと	1
プログラムカレンダー	2
今月のひとと口解説	3

障害者差別解消法について

今年 4 月に施行された「障害者差別解消法」の中の「合理的配慮」については、一般企業は努力義務とされているが、自治体は義務となっている。一体どの様な事をいうのだろうか？

厚生労働省のホームページには「典型的な例としては、車いすの方が乗り物に乗る時に手助けをすることや、窓口で障がいのある方の障がいの特性に応じたコミュニケーション手段(筆談、読み上げなど)で対応することなどが挙げられます」とある。

記載されている行為そのものは障がい者に対して、関心を持ち、優しさがあれば誰にでもできる行為である。2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、このソフト面が、来日した外国人だけでなく、日本中に広がって行くことを望みたい。

今月のひとこと

先日、検眼したら視力がだいぶ低下していた。年齢のしわざと言ってしまうがそれまでだが、最近よく耳にするブルーライトが日常で使用する様々な電子機器の画面から発せられることや、長時間その光にさらされることで目に影響を与えるということなどを思い出した。

そこで改めて普段の生活を振り返って見たら仕事以外の時間にもテレビやパソコン、ながらスマホなど、我ながらだいぶ目を酷使していることが判って反省した。そこですぐさま「視力回復サプリ」、「目に良い食材」などのキーワードを検索してみようと思っただけで携帯を手に取りかけた…が、やめておいた。皆さんも目を大切に。

NEWS～ホームドア普及に向け町田駅に新型設置

JR 東日本は 9 月、横浜線町田駅に新しいタイプのホームドアを試行的に導入し、低コスト化に向けた検討を行なうと発表した。視覚障がい者等の転落事故が起こるたびに「ホームドアが設置されていたら」という声が上がりますが、1 駅あたり数億円単位のコストがかかることからなかなか普及が進まないのが現状だ。今回、町田駅に設置されるのは、開閉するドア部に横開きのフレーム構造を採用し、これまでの物と同等の強度を確保しつつ、内部の機構を簡素化した。これにより大幅なコストカットが期待出来るとしている。最近では携帯ゲーム機やスマートフォン使用による事故も発生している。社会的なマナー啓発と合わせ施設面の対策も急務だ。

※『relief』は「つながり」や「結びつき」を表わすフランス語。人と人、地域と地域をつなげることで真の共生をめざしたいという意味を込め、リニューアルした広報誌にこの名前をつけました

つむぎ館まつりの報告



10月22,23日に開催しました。お天気もよく沢山の方が来所されました。ご協力頂いた皆様ありがとうございました。大盛況な2日間でした。

内容	人数
手相占い	141名
ハンドマッサージ	90名
視障協マッサージ	72名
しおり作り	96名
バルーンアート	183名
水きりえ・こま・コースター	286名



阿部市長も見学に来て下さいました

10月相談件数

内容	相談件数
電話	103件
面接	99件
訪問	2件
同行	4件
連絡調整	18件
フリースペース(延べ)	288名
プログラム参加(延べ)	111名
新規登録者	0名
今年度登録者	163名

お楽しみ会

12月24日(土)に『の一まお楽しみ会』を開催します。
 ・時間: 13時30分から15時30分
 ・場所: の一ま(第四会議室)
 ・申込み期間: 12月17日(土)まで。
 ・参加費: 100円
 詳細はポスター、または職員まで。

お知らせ

今月の映画会

10日(土)は『ズートピア』を上映します。

動物たちが暮らす世界の農場でニンジン作りに従事するウサギの女の子ジュディは、サイやゾウ、カバといった大きくて強い動物だけがなれる警察官に憧れていた。

警察学校をトップの成績で卒業し、史上初のウサギの警察官として希望に胸を膨らませて大都会ズートピアにやってきた!

プログラムの中止

23日(金)のイブニングタイムは、祝日の為、中止になります。

28日(水)のリラックス体操は、中止になります。

●実績報告●
10月の実績報告

10月の相談件数は397件で、昨年同月とほぼ同値。その内訳は就職前相談が15%減、就職後相談が26%増となっている。本人(160件)と関係機関(116件)への支援で全体の70%を占めている。福祉サービスの利用相談が増えた一方で、既就労者の安定した仕事ぶりが伺える。

新規登録者は1人で、支援の再開を希望して登録。新規就職者はいなかった。

また、10月28日には町田で合同面接会が開かれた。支援者が同行し、利用者1人が面接を受けた。

●今月のひと口解説●
ビジネスマナー編 vol.12
休暇の取り方

一定の条件を満たすことで公休日以外の休暇を取れる制度として「有給休暇」があります。「有給休暇」を取る際には一緒に働いている人が困らないように以下の点等に気を付ける必要があります。

- ①確認する
旅行などが理由で出勤日に休みを取ろうとする場合、有給休暇があるかどうかしっかり確認します。
- ②申請する
早めに上司に確認し休みを取る日にちが決まったら上司に相談し許可が出たら休暇届を提出します。
- ③急な休みのときは
体調が悪く出勤できないときは始業前に会社に連絡します。(通常、有給休暇になります)

急な休みに備え、有給休暇の日数は日頃から自分で把握しておくといよい。



つむぎ館まつりでボランティア体験!!

就労支援センターが位置する多摩市立健康センターの恒例行事つむぎ館まつりが10月22日、23日に行なわれた。生活支援プログラムのメンバーからは5名が今年もボランティアとして協力した。曇り空で時々雨もぱらつく天候からか例年よりも気温は低め。客足が心配される中、10時前に集合すると、それぞれ与えられたブースと役割を確認。スタッフジャンパーを羽織ると一気にまつりの雰囲気が高まる。ボランティア協力する地域活動支援センターの一まのブースは全部で10か所。それぞれのブースの受付や順番が来た際の声掛け等の役割を担う。客足の少ない午前中はブースの体験もできる。毎年参加しているメンバーも多く、慣れた様子で

◎毎年大人気のハンドマッサージ。好みの香りを選ぶ。担当者との他愛のない会話も楽しい



◎九頭竜公園には多くの模擬店が並び大盛況。地元の飲食店や施設等が出店。中でもピーストロガノフは絶品!!

役をこなす。ボランティア協力者は500円の謝金を用意されており、12時から1時間の休憩時間には九頭竜公園の模擬店の食事を楽しむことができる。やきとりやコロッケなどハンドフードの定番から地元精肉店のビーフストロガノフまで幅広いメニューが用意されている。各々休憩時間を楽しみ、午後のオープンまであと10分というところで既に入り口には順番待ちの客が。午後からは気温の上昇と共に親子連れなどでのブースも賑わい、忙しさと共に終了時間を迎える。メンバー全員がやり切った表情を見せていた。

多摩南部就業支援連絡会第10回企業セミナーに参加

11月15日に多摩南部就業支援連絡会主催の企業セミナーが行なわれた。連絡会は障がい者雇用に携わる八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市の産業、行政、教育、医療、就労支援センターのネットワーク構築を目的とした勉強会や施設見学会等を行っている。今回は地域内外の関係企業20社、関係機関20機関が参加し、合理的配慮に関する講演、グループディスカッションでの障がい者雇用や職場定着等の課題について情報交換を行なった。雇用実績の長短により抱える課題が様々であり、多くの実績を持つ特例子会社では対応のノウハウが蓄まれていることから、具体性のある意見が出された。また、大学における障がい者雇用の実態として周囲の障害理解に課題があるという意見には障害学生への理解と対応が進んでいることとのギャップには意外性を感じた。

日	月	火	水	木	金	土
お楽しみ会に参加する方は17日(土)までに申し込みをして下さい。当日、300円以上500円以内のプレゼントをお持ちください。				1	2 イブニングタイム 17:45~19:30	3 利用者ミーティング 14:00~15:00
4 休み	5 休み	6	7 SST(固定第2) 14:00~15:30	8	9 イブニングタイム 17:45~19:30	10 スタッフ会議 10:00~12:00 映画会 『ズートピア』 13:30~15:30
11 休み	12 休み	13	14 リラックス体操 14:00~15:00	15	16 イブニングタイム 17:45~19:30	17
18 休み	19 休み	20	21 SST(自由参加) 14:00~15:30	22	23 天皇誕生日 休み	24 お楽しみ会 13:30~15:30
25 休み	26 休み	27	28 リラックス体操は お休みです	29	30	31
年末年始のお休みについてのお知らせ 支援センターの一ま 12月29日(木)から1月3日(火)までお休みです。						